高知県・嶺北地域

SDGsと安全対策で新しい時代を
四国のまんなかで自然体感

高知県嶺北地域は、四国の真ん中に位置し、愛媛県、徳島県に隣接した山間地域。主産業は農林業で高冷地の気候と特色を生かした作物、商品づくりが行われている。

大原富江など文化人の輩出や、高知県では唯一の国宝の建造物「豊楽寺薬師堂」、樹齢3千年と言われる国の特別天然記念物「杉の大スギ」、土佐の三大番所であった国重要文化財「旧立川番所書院」など歴史的文化財が多く保存されている。

また、高知のブランド牛である「土佐赤牛」や2010、11年に「お米日本一コンテスト」で日本一になった「土佐天空の郷」など、食の魅力も高い地域である。

この嶺北地域には、「四国三郎」として知られる吉野川が横断しており、自然豊かな山や川ではさまざまな自然体験やスポーツ体験が盛んだ。17年10月には、世界ラフティング選手権も開催されており、年間を通じて豊富な水量を有する吉野川は、ラフティングのメッカとも呼ばれ、日本最高クラスのラフティング体験が行える。

近年、修学旅行でのラフティング体験のニーズが高まっていることから、光組織として一般社団法人土佐れいほく観光協議会を設立し、大豊町観光開発協会が行ってきた事業を承継するとともに、一般旅行、教育旅行、農流人口の拡大と地域経済の活性化を目的に事業を推進していくこととなった。

嶺北地域では、自然との共生や人を思いやる心、地域を守るためにみんなで支え合う力が培われているなど、昔ながらの生活が今もなお営まれており、こうした山里ならではの暮らしの体験など、受け入れ再開に向けた準備は進めている。また、近年話題となっているSDGsの取り組みについては、嶺北地域における自然との共生、自然体験、山里のありのままの暮らし体験をその取り組みの一環として未来に向けた持続可能な開発目標として掲げ、各種体験プログラムの提供を行っている。

吉野川でのラフティング

民泊先での暮らしに触れる

受け入れ家庭での調理

離村式

野菜の収穫体験

約受け付けに加えてラフティングの予約受け付けなど関連施設の手配業務をワンストップ窓口として大豊町観光開発協会が行ってきたが、昨年12月に嶺北地域のさらなる交流人口の拡大と地域経済の活性化を目的に事業を推進していくこととなった。

嶺北地域では、自然との共生や人を思いやる心、地域を守るためにみんなで支え合う力が培われているなど、昔ながらの生活が今もなお営まれており、こうした山里ならではの暮らしの体験など、受け入れ再開に向けた準備は進めている。また、近年話題となっているSDGsの取り組みについては、嶺北地域における自然との共生、自然体験、山里のありのままの暮らし体験をその取り組みの一環として未来に向けた持続可能な開発目標として掲げ、各種体験プログラムの提供を行っている。

一般社団法人　土佐れいほく観光協議会
〒789-0392 高知県長岡郡本山町本山582−2
TEL 0887-72-9400　FAX 0887-76-2350
E-mail:info-main@tosareihoku-kanko.com
URL https://tosareihoku-kanko.com/
営業時間8：30～17：15

高知県・四万十・足摺エリア

「主体的・対話で深い学び」でSDGs考える
日本最後の清流を体験

四万十川でのカヌー体験

四国の西南部に位置する高知県の四万十・足摺（幡多）地域は、日本最後の清流と言われている「四万十川」を中心に「足摺岬」など山、川、海と多様な自然環境に恵まれた地域です。この豊かな自然環境を活かしたさまざまな体験プログラムを商品化しており、全国に誇れる自然体験型観光の先進地を目指しております。

SDGs学習プログラム

自然豊かな幡多地域で、「主体的・対話的で深い学び」を通して、持続可能な社会を未来につなぐために、自分たちは主体的に何ができるかを考えます。

体験プログラム

体験プログラムは、「何にもないのに、なんでもある」をキーワードに豊かな自然が残っている田舎だからこそできる体験を中心に、食、文化、漁業、農林業など100種類を超える体験プログラムを提供しております。

人気が高い「カツオのわら焼きタタキづくり体験」

田舎暮らし体験は、一般の農山漁村家庭の〝ありのままの暮らし〟を体験できる「田舎暮らし体験」です。現在、受け入れ家庭数は80件を超え、1日最大300人程度の受け入れが可能となっています。山、川、海に恵まれたこの地域では、自然を知り、触れ合うことで自然とともに生きる力を養うことができます。

カツオのわら焼きタタキづくり体験

高知の食文化の代表でもあり、一番人気です。漁師のおじさん、おばさんがインストラクターとなり、生徒自らがカツオ1本を丸ごとさばいてわらで焼き、タタキを作って食べます。この体験によりカツオ漁の歴史や高知の食文化などを感じ、食材への感謝の気持ちを育むとともに、魚嫌いの生徒も自然と食べることができるようになります。

四万十川カヌー体験

初心者でも安全かつ気軽に体験できます。カヌーから見る自然景観は、日本の原風景とも言えます。最後の清流、四万十川を見ることのできる貴重な体験となります。

防災学習

地震などの自然災害から身を守り、生きる力を育てるプログラムを用意しています。過去に起こった事例を学ぶのではなく、これから起こり得る近い将来の災害について自分たちがどのような行動ができるかを考え、一人一人の防災意識を高めるためのプログラムとなっております。

受け入れ態勢

受け入れ窓口の幡多広域観光協議会は、高知県と幡多6市町村（四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村）で組織し、四万十・足摺地域でしか体験できない豊かな自然、食、伝統文化、生活や人と人との心のつながりを生徒に感じていただける安全で信頼性の高い体験プログラムを提供できるよう、官民が一体となって取り組んでおります。

生活体験では池入れ家族と交流

80軒を超える受け入れ家庭がある

一般社団法人　幡多広域観光協議会
〒787-0014　高知県四万十市駅前町15-16
TEL 0880-31-0233　FAX 0880-31-0660
E-mail:syuryo@hata-koiki.com
URL:https://www.hata-kochi.jp/

SDGsに対応　新しい時代へ

愛媛県・南予地域

南予でSDGsを自分ごと化
農林漁業の営み体験

愛媛県南西部に位置する南予地域は、4市（宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市）、5町（内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町）からなり、海、山、川の自然に恵まれ、農林漁業の営みが盛んです。

温暖な気候に恵まれたリアス式海岸では、生産量日本一を誇るマダイやシマアジ、真珠などが養殖されています。また、日本農業遺産に認定された「愛媛・南予の柑橘農業システム」は急傾斜地の段々畑が特徴で、壮大な景観とともに日本一の〝柑橘王国・愛媛〟の屋台骨を担っています。宇和島城や内子、大洲、宇和の古い町並みなど、歴史文化遺産も多く、日本一細長い佐田岬半島や四国西予ジオパーク、滑床や成川の渓谷など多様な自然環境を有しています。

日本農業遺産に認定された柑橘農業システム

マダイの養殖えさやり体験

郷土料理づくり体験

■民泊受け入れ400人が可能

南予地域では、豊かな自然と多様な生徒の皆さんをお客さま

で最大100軒400人の受け入れが可能で、ありのままの暮らしの中、農林漁業の営みを生かしたプログラム群の特徴は「ほんもの体験」であることです。

■南予の課題解決型学習

希望に応じたコーディネートを実施します。

南予地域では、地域が抱えるさまざまな課題の中から、生徒自身が優先して解決すべき課題を見つけ出し、現地でのフィールドスタディと事前事後学習を通して提案へとまとめるという、「南予版PBL」（課題解決型学習）の提供を開始しました。民泊先へのインタビューや各種体験時の実体験を足がかりに課題解決の方向性を検討するとともに、SDGsの枠組みの中で生徒自らが身近な事例と結び付けることで、SDGsの〝自分ごと化〟を図ることを狙っています。例えば、生産量日本一の「養殖マダイへの餌やり体験」では、民泊2泊の場合は、中日・午前中の「ふれあい交流体験」でコミュニケーション能力の涵養（かんよう）を、午後の各種選択体験で主体性、自主性、チームワークの育成を目指し、教育効果を高めます。

南予地域では、家族の一員として迎え入れます。

一方「体験」は、民泊受け入れを進めています。「ふるさと南予感動体験」と銘打ったプログラムは「ほんもの体験」であることです。かな自然を存分に楽しむ自然体験など多様なプログラムを用意し、季節や「民泊」にあります。域内

船釣り体験

一般社団法人　八幡浜市ふるさと観光公社
〒796-8501　愛媛県八幡浜市北浜1-1-1
TEL 0894-22-0855　FAX 0894-22-5653
URL https://furusato-nanyo.com/

長崎県・五島市

「国境の離島」
抱える課題・あふれる学ぶ魅力を

「釣りの聖地」で行う船釣り体験（市内全地区）

九州の西の端、長崎から西に約100㌔に位置し、11の有人島と52の無人島で構成される五島市。

「国境の離島」である五島市では現在、「五島感動しま旅！」と銘打ち、豊かな自然や農林漁業などの営み、また、歴史や文化を生かし、「ほんもの体験」にこだわった体験交流型教育旅行の受け入れを推進しています。

■最大400人の受け入れが可能な民泊体験

五島市体験交流協議会では、農林漁業を中心とした30余りのプログラムの「新型コロナウイルス対応ガイドライン」を策定し、万全な受け入れ体制を整えています。

■五島市の魅力と課題

五島市体験交流協議会では、五島市ならではの魅力を実感してもらうとともに、五島市が抱える課題についても考える、教育効果を意識した体験プログラムを設計、展開しています。

古くは遣唐使船最後の寄港地、海外交易の拠点として栄え、倭寇や空海の伝説が残り、城郭や武家屋敷など歴史文化遺産も豊富です。また、カトリック信仰の地として数多くの教会が点在し、久賀島の集落と奈留島の江上集落については、長崎県や関係市町と連携して、2018年7月に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産登録されました。

世界文化遺産　江上天主堂（奈留島の江上集落）

世界文化遺産　旧五輪教会堂（久賀島の集落）

日本一美しい砂浜　高浜海水浴場（日本の渚100選・海水浴場100選）

そのほかにも、美しい雄大な自然にあふれ、四季を通じて釣りや山海の味覚が楽しめることなど、素晴らしい教育素材が数多く存在します。

一方で、国境に隣接する離島としての課題もあります。

農林水産業の低い生産性と高齢化や後継者不足による耕作放棄地の拡大や、美しい海が海岸に漂着するごみに侵されていること。また、島々が限界集落になると同時に荒廃が進み、住環境が整備できていないことなどが挙げられ、このような課題を体験プログラムに組み込むことで、生徒が主体的に学び、考えることができるような新たなプログラム作りにも取り組んでいます。

五島市体験交流協議会
株式会社 ＪＳＨ
〒853-0005 長崎県五島市末広町3-4
TEL 0959-76-3600　FAX 0959-88-9346
URL https://www.goto-shimatabi.com/
Email:jsh-travel@jsh-japan.jp

つばきねこ